

水泳部創部当時の思い出

先日の会合ではいろいろとご尽力下さり有難うございました。盛会であったことご同慶の至りです。

さて 先輩諸兄は勿論 黒田君までも亡くなってしまったので、創部当時を知っているのはとうとう私一人になりました。

当時のことについては、50年と75年の時に出して下さった小冊子に何人かの方が書いておられますが、その多くが印象に残っている事柄の紹介という感じがします。それはそれで貴重なものですが、記録という点から考えるとあれだけでは十分とは言えないと思い、私の知っている限りのことをお伝えするのはむしろ責任であるように感じていましたが、先日の会ではその機会もなかったのでここに記しておくことにします。

「創部の期日」

プールが完成した昭和10年は私が初等科6年の時です。年も明け中等科への進学の時期が近づくと、我々の間では入学後にどこの部に入るかが話題の一つの中心でした。私は三つ違いの兄にそれぞれの部の内容など尋ねたところ、水泳はどうかと言われ、泳ぐことが好きだったので自分としては部があるならそこに入りたいとその時思いました。入学式も終わると、各部は部活動説明会と称して部員勧誘のために茶菓付きの会を開いていました。ゆう(‘遊’しか漢字がありません)泳部の会もあり、そこに出席したのは新入生では黒田と私の二人でした。

従って昭和11年度の初めには創部されていましたが、前年度中に創部されていたかどうかはわかりません。創部に当たって学校に届けを出すこともなかったようですし、創部の会合も開いていないので、当時ですら創部の期日ははっきりしていなかったのではないのでしょうか。それで こんにちになって創部の期日はと言われれば‘昭和11年度の初め すなわち4月1日’とするのが良いのではというのが私見です。

創部期日とは関係ありませんが、創部の中心になられたのは高等科の5～6名の方々だそうで、皆さん小堀流得業者で沼津で指導して頂いていたのでよく存じ上げていました。

「創部初期の部活動」

当初の部員は、高等科は上記の5～6名、中等科は4年の藤田・丹下の両氏と私の兄、そして1年の黒田と私の計5名に過ぎませんでした。そして梅雨が明けた頃にプール掃除をし、換水してもらって 好きな時に勝手に泳いで楽しんでいたという状況でした。経緯は知りませんが、次の年にはコーチに東大から小出さんという方に来て頂

いて、競泳としての泳ぎ方を初めて教わりました。従って競泳を対象とした部活動はこのときから始まったといえるでしょう。しかし未だに泳ぎを楽しむという域を出なかったと思います。すなわち寒い時や雨の日には誰も練習をしていませんでした。あるときこんなことがありました。その日は雨が降っていたので誰もプールには行きませんでした。翌日行くとプールサイドに一枚にメモが置かれており、そこには「張り子の虎でもあるまいし・・・」と書かれていました。小出さんが置いてゆかれたものでした。部活動らしい水泳を始めたのはその時からだったと思います。

創部後5～6年のことで、前記の2冊の小冊子には書かれていないことはありますが、それらを知っている人たちがまだ存命ですので、以上の2件だけにしておきます。

以上適当に処理して頂けたら幸いです。

戸澤康壽

(2016/9/4 水泳部創部 80 周年懇親会に出席して)